

平成30年度 収蔵品展
Collection Showcase 2018

建築からまちへ 1945-1970

From Architecture to Urbanism 1945-1970

戦後の都市へのまなざし

Perspectives on Urban Design in the Postwar Era



①大島町・元町復興計画 鳥瞰図 / 吉阪隆正 +U研究室

坂倉準三

渋谷計画
上野市全体計画
新宿計画

池辺陽

渋谷区復興計画案

大高正人

宇部レクリエーションセンター
上野計画
千葉文化の森
宇部市常盤公園
神戸須磨離宮公園現代彫刻展

吉阪隆正+U研究室

大島町・元町復興計画

戦後、建築家たちが思い描いた ^{アーバニズム}〈まち〉や ^{アーバンデザイン}〈都市〉に関連する建築資料を紹介

平成30年度収蔵品展は、1945-1970年という戦後復興・高度経済成長の時代を広い意味で〈戦後〉として捉えて企画いたしました。この時代は、往々にして効率重視の、急激な近代化・都市化・工業化・機械化の動きが目立ちがちです。しかし、〈戦後〉に活躍した建築家たちの活動の中には、21世紀の今、私たちが真剣に求めている豊かな ^{アーバニズム}〈まち〉の再構築、それを支える ^{アーバンデザイン}〈都市へのまなざし〉の萌芽的な例が、すでに多様なかたちで見いだされます。

今回の展示では、当館が収蔵している坂倉準三、吉阪隆正+U研究室、大高正人などの建築資料群から、整理・分析により見えてきた、これまでの展覧会では十分に紹介できなかった彼らが思い描いた ^{アーバニズム}〈まち〉や ^{アーバンデザイン}〈都市〉に関連する資料を展示します。さらに、修復が完了した池辺陽の「渋谷区復興計画案」の全容も紹介いたします。